

文7そこを八橋といひけるは、<sup>①</sup>水  
行く川の<sup>②</sup>蜘蛛手<sup>③</sup>なれ<sup>④</sup>ば、<sup>⑤</sup>橋  
を八つ渡せ<sup>⑥</sup>るによりてなむ、  
八橋といひける。

問一 傍線部①の訳として適切なの  
は？

ア 水が行く イ 水が流れる

問二 傍線部②の訳として適切なの  
は？

ア クモの手 イ クモの足

文7そこを八橋といひけるは、<sup>①</sup>水  
行く川の<sup>②</sup>蜘蛛手<sup>③</sup>なれ<sup>④</sup>ば、橋  
を八つ渡せ<sup>⑤</sup>るによりて<sup>⑥</sup>なむ、  
八橋といひける。

問三 傍線部③の助動詞は終止形は  
「なり」。訳は「だ・であ  
る」。

(1)意味は次のどれになるか。

ア過去 イ推量 ウ断定 エ完了  
オ存続 カ意志 キ打消

(2)この「なれ」は何形か。可能性  
があるものを二つ、選べ。

※「だ・である」と訳せる「な  
り」は、形容動詞のナリ活用  
と同じ活用の仕方（なら「な  
り・に「なり」なる「なれ」なれ  
ラ変型）をする。

ア未然 イ連用 ウ終止 エ連体  
オ已然 カ命令

文7そこを八橋といひけるは、<sup>①</sup>水  
行く川の<sup>②</sup>蜘蛛手<sup>③</sup>なれ<sup>④</sup>ば、橋  
を八つ渡せ<sup>⑤</sup>るによりて<sup>⑥</sup>なむ、  
八橋といひける。

問四 傍線部④の「ば」は次の三  
つの訳を持つ。ここではど  
れ？

アもしくならば

※未然形＋「ば」

イゝので

※已然形＋「ば」で、

「ば」の上の出来事が原因で、

「ば」の下が出来事が起こった。

ウゝするとゝゝしたところ

※已然形＋「ば」で、

「ば」の上の出来事のあと、

「ば」の下が出来事が

たまたまが起こった。

文7そこを八橋といひけるは、<sup>①</sup>水  
行く川の<sup>②</sup>蜘蛛手<sup>③</sup>なれ<sup>④</sup>ば、  
橋を八つ渡せ<sup>⑤</sup>るによりて<sup>⑥</sup>  
なむ、八橋といひける。

## 問五

傍線部⑤の終止形は「り」で  
完了の助動詞「たり」と同様、  
次の二つの意味を持つ。ここ  
ではどちらの意味で使われて  
いるか。

## ア完了

(くしてしまった・くた)

※くの瞬間に注目

## イ存続

(くている・くてある)

※くの後の状態に注目

## 問六

傍線部⑥の「なむ」について

(一)この語の意味は？

## ア

強意

イ

疑問

ウ

反語

(2)この語があると文末は何形にな  
るか。

ア未然

イ連用

ウ終止

エ連体

カ命令

このページは空白ページです